

一般社団法人日本呼吸療法医学会
2019 年度（第 42 期）第 2 回理事会 議事録

日 時：2020 年 2 月 6 日（木）14：00～16：30

場 所：東京八重洲ホール 3 階 302 会議室

出席者：藤野裕士（理事長）、今中秀光、尾崎孝平、落合亮一、竹田晋浩、西田 修、
志馬伸朗、大塚将秀、陳 和夫、山本信章（各理事）
川前金幸、橋本 悟（監事）

欠席者：布宮 伸、神津 玲、茂呂悦子（理事）

[敬称略]

陪 席：小笠原聡（事務局）

【開 会】（藤野理事長）

- ・理事会開催に必要な理事の過半数の出席があることが報告され、開会が宣言された。

I. 報告事項

1. 前回理事会議事録の確認・承認（藤野理事長）

- ・前回の理事会議事録は、原案通り承認された。

2. 持ち回り理事会（審議 5 件、連絡 8 件）決定事項の承認（藤野理事長）

- ・審議 5 件の決定事項を承認し、継続審議事項を確認した。連絡事項 8 件を確認した。
- ・持ち回り理事会 42-8 のオリンピックにかかわる ECMO 対応の体制構築の件とあわせて、新型コロナウイルス感染症の治療方針を関連学会で早急に協議するため、日本医療研究開発機構（AMED）より感染拡大対策会議への出席要請があり、本会から竹田理事と清水敬樹 ECMO プロジェクト委員が出席することが報告された。

3. 事務局からの報告（大塚事務局担当理事）

- ・会員動向について、前回理事会（19/10/31）以降大きな変化はないが、年度末で資格喪失退会となる年会費 2 年度分滞納者が 127 名に上っており、滞納者への催促を行うことが報告された。
- ・本年度分の年会費納入率は現時点で 78%（前年度は 82%）であり、例年通り未納者への年度末の再請求を行う。
- ・学会誌「人工呼吸」の電子化により、年間購読契約者数が 4 件減って 17 件となった。

4. 学術集会報告・準備状況

1) 第 41 回学術集会報告（藤野前会長）

- ・第 41 回学術集会の収支は 18,102,691 円の黒字となったことが報告された。

2) 第 42 回学術集会準備状況（志馬会長）

- ・2020 年 6 月 27 日（土）・28 日（日）に国立京都国際会館で開催する。
- ・指定演題、公募演題は確定したことが報告された。

- ・一般演題が現時点で 112 題と例年に比べて非常に少なく、当初の演題募集締め切りを 1 週間延長し 2/7 (金) 正午までとした。しかし、日本集中治療医学会学術集会が 3 月初旬に控えているため、もう 1、2 週間の延長を考慮してもよいとの意見があり、志馬会長に再考いただくこととなった。

3) 第 43 回学術集会準備状況 (大塚副会長)

- ・2021 年 7 月 3 日 (土)・4 日 (日) にパシフィコ横浜で開催する。
- ・ポスター (案) が制作され配布された。プログラムについては看護師に加えて、他のメディカルスタッフ、とくに臨床工学技士や理学療法士向けの教育講演を充実させる予定であることが報告された。

5. 事業報告

1) 第 49 回東京セミナーの報告 (大塚担当理事)

- ・2019 年 11 月 30 日 (土) に東京で開催され、参加者は 380 名であったことが報告された。講演内容のクオリティは高く、参加者アンケートでも過去のセミナーと比べて高評価で満足度も高い結果となった。

2) 第 14 回 ECMO シミュレーション・ラボ千葉の報告 (藤野理事長)

- ・2020 年 2 月 1 日 (土)・2 日 (日) に千葉で開催されたことが報告された。

6. 各委員会報告

1) 投稿規定の改訂について (今中担当理事)

- ・『人工呼吸』の電子化にともない、投稿規定の文言が電子化にそぐわない点を編集委員会で修正した。
- ・投稿論文の図表タイトルおよび説明文の英文表記と英文要約を不要とする改訂をしたことが報告された。

2) 代議員審査について (西田担当理事)

- ・代議員審査の実施スケジュールについて説明が行われた。
- ・代議員 99 名中、任期満了の 5 名を除く 94 名全員の更新申請があったことが報告された。
- ・新規申請は 2/28 (金) を締め切りとして受付を行う。

3) 呼吸療法専門医・研修施設 (更新・新規) 報告 (藤野担当理事)

- ・本年度の研修施設更新対象の 1 施設から追加申請があり、更新認定は 5 施設となったことが報告された。
- ・次年度の筆記試験から客観問題を導入し、客観問題 10 問+記述問題 1 問の出題を予定していることが報告された。

4) ARDS 診療ガイドライン作成統括委員会の事業計画 (橋本前委員長)

- ・2019 年 12 月に開始されたシステマティック・レビューを 2021 年 2 月に完了し、2021 年 3 月にパネル会議を開催し、推奨文原案作成までの事業計画が報告された。

7. その他

- 1) 『改訂人工呼吸ハンドブック 2019』について（藤野理事長）
 - ・標記ハンドブックが完成して会員専用ページに掲載され、制作費は 1,205,644 円となったことが報告された。
 - ・次回の改訂は、5 年後の需要動向に応じて判断することとした。
- 2) 学会出版物等の二次使用に関する内規改訂について（藤野理事長）
 - ・「人工呼吸」などで公表した論文や各種ガイドライン（一部抜粋を含む）に対する二次使用許諾申請に対し、営利目的での電子媒体利用にかかる許諾料の内規改訂が報告された。利用期間は 3 年間とし、全文掲載のほか、図表データ 1 点からの掲載にも許諾料を申し受け、賛助会員と非賛助会員で料金を差別化することとした。
 - ・本内容について、賛助会員には別途告知を行う。
- 3) 次回理事会について（藤野理事長）
 - ・2020 年 5 月 14 日（木）に東京八重洲ホール会議室にて開催予定。

II. 審議事項

1. 名誉会員の推戴について（大塚事務局担当理事）
 - ・名誉会員選出に関する定款施行細則に則り、落合亮一理事と山田芳嗣代議員の 2 名が対象であることが報告され、2 名の推戴が承認された。次回理事会までにご本人の内諾とあわせて推薦状を作成することとした。
2. 次期委員会人事の承認等について（大塚事務局担当理事）
 - ・各委員会から提出された次期委員候補について、兼任 3 委員会以内などの申し合わせ事項を確認し、すべて承認された。
 - ・将来計画・財務委員会の内規第 2 条 組織（1）に、学術集会あり方検討委員長も委員に加える旨の改正を承認した。
 - ・小児在宅人工呼吸検討委員会の内規第 2 条 組織（1）で、「委員 10 名」のところ「委員 10 名以内」とする改正を承認した。
3. 第 41 回学術集会の余剰金について（藤野前会長）
 - ・学術集会収支決算を公認会計士が確認し、納税額の確定後に年度内に余剰金処理を行うことが報告された。
 - ・協賛企業への決算報告、および次年度の趣意書作成の際は、余剰金処理や税務処理後の最終報告書を提示することを確認した。
4. 第 42 回学術集会の参加費について（志馬会長）
 - ・第 42 回学術集会の参加費について志馬会長から以下の通り提案があり、承認された。

参加区分	事前登録	当日登録
会員：両日（要会員番号）	15,000円	16,000円

非会員：両日	16,000円	17,000円
メディカルスタッフ：1日券（6/27） ◆要職種&資格番号	10,000円	—
メディカルスタッフ：1日券（6/28） ◆要職種&資格番号	10,000円	—
卒後2年目以内の医療従事者 ◆職種不問、要証明書	10,000円	—
学生（学部学生のみ） ◆要会員による推薦状	3,000円	—
懇親会	無料（参加区分◆の方は1,000円）	

- ・教育セミナー（ランチョン）は事前登録のみ登録可とした。

5. 医療系学生の学術集会参加費について（藤野理事長）

- ・以下を理事会申し合わせ事項とすることが承認された。
 - ①指導教官が本会会員であり、事前登録での申込に限り、無料での参加を含め参加費を会長が決定したうえで受け付けることとする。
 - ②当日、受付で会員（指導教官）の推薦状提示を条件とする。
 - ③ただし、（無料）参加可能な人数やプログラムなどは会長の判断に一任する。
 - ④なお、国外の医療系学生の場合は理事会審議事項とし、申込みがあった時点で理事会に連絡する。

6. 第45回（2023年）学術集会会長候補について（藤野理事長）

- ・第45回（2023年）は近藤康博代議員（公立陶生病院、愛知）を推薦することが承認された。次回の理事会までに推薦状を作成する。
- ・第46回（2024年）は小谷透代議員（昭和大学医学部、東京）を推薦する方針が内定した。

7. 役員選挙について（大塚事務局担当理事）

- ・役員選挙の実施スケジュールについて説明が行われ、承認された。
- ・職種指定理事の選出については、従来通りあらかじめ現理事会で検討を行い、新理事会に案として提示することを確認した。次回理事会までに職種指定理事の選出と本人の意向確認を行う。

8. 各委員会からの審議事項

1) 『人工呼吸』の電子化にともなう変更点について（今中担当理事）

- ・電子化にともなう諸課題を委員会で検討した。その結果以下の6点が理事会に諮られ、次の通り決定した。
 - ①投稿論文は会員専用ページではなく今後もオープン掲載を行う。

- ②ユーザーレポートはカラー掲載も可とし、掲載料は従来通りの 7 万円（税別）とする。
- ③ユーザーレポートの別刷制作に際し、カラー印刷の際の金額を併記した料金体系に改訂した。
- ④ユーザーレポート掲載社が PDF データを自社サイトに掲載希望した場合は、別途学会で規定した「転載許諾料」にもとづき 30 万円（税別）を申し受ける。なお、掲載社にデータ配布するユーザーレポートの PDF は印刷・コピー不可仕様で作成し、印刷・コピー不可であることを明記する。
- ⑤広告について、電子化にふさわしい掲載場所や方法が提案され、それらを盛り込んだ広告料金に改訂した。
- ⑥広告減に対する代替案として、バナー掲載の提案を承認した。料金は 1 バナー当たり 2 万円/月（税別）とし、年間契約で申し受けることとした。

2) 自発呼吸アセスメント指針について（尾崎委員長）

- ・本ワーキンググループについては 2019 年度で解散し、改訂を目的とした新ワーキンググループを 2020 年度に再結成する提案が行われ、承認された。
- ・学会ホームページに公開した指針のハンディ版の出版が前回の理事会で（19/10/31）承認されたが、著作権問題の処理が難航し、今回は出版を見送ることとした。次年度以降作成予定の改訂版については、学会の著作物として出版することを前提に制作することを確認した。

9. その他

1) 第 30 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会

学術集会共同企画へのご協力について（陳 和夫会長）

- ・陳会長より、「ARDS 治療をめぐる Pros & Cons」をテーマに日本呼吸ケア・リハビリテーション学会、日本呼吸器学会、日本呼吸療法医学会の 3 学会合同による共同企画の依頼があり、本会として承諾したことが報告された。
- ・演者には、次の候補者を本会から推薦することが決定した。
 - ①ステロイド療法（パルス、1mg/kg） Pro：（未定）
 - ②挿管人工呼吸に対して NPPV（±HFNC） Con：竹田晋浩理事
 - ③High PEEP Pro：吉田健史代議員

2) 委嘱状の PDF 化について

- ・役員・社員・委員宛に発行している委嘱状について、経費削減と業務効率化を目的に、PDF 化した電子データで配信することが承認された。